

令和4年度 学 校 評 価 集計結果と今後の方針 (本校)



回答率	協議委員	90%	80%
	保護者	51%	
	教職員	100%	

*協議委員： 学校運営連絡協議会委員

*保護者： S部門保護者、B部門（本校）保護者

学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。評価していただいた内容や、評価結果に基づき、設問ごとに今後の方針をまとめましたので、御覧ください。

多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

令和4年度 学校評価 集計結果とまとめ

(1) 4段階の評価をプラス評価(4、3)とマイナス評価(2、1)とし、未記入を加え、表示しました。

(2) 全体合計(協議委員、保護者、教職員合計)において、以下の割合に基づき、各取組の評価を行い、評価記号を付けました。

① マイナス評価10%未満 (◎)

② マイナス評価20%未満 (○)

③ マイナス評価25%未満 (△)

④ マイナス評価25%以上 (▲)

⑤ 全体評価のマイナス評価は少ないが、未記入が10%以上であり、プラス評価も高いとは言えない (□)

⑥ 教職員の未記入が10%以上であり、校内の理解啓発取組が早急に必要 (■)

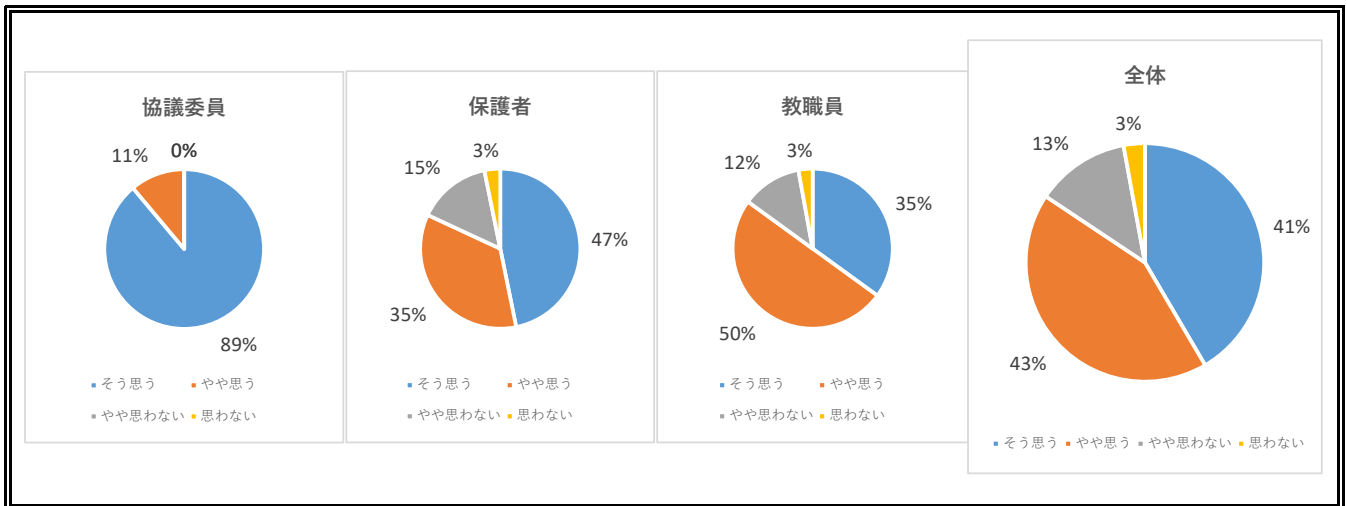
⑦ 保護者の未記入が10%以上であり、保護者への理解啓発取組が早急に必要 (◆)

(3) 回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)では、個人が特定できないように表現を改めるとともに、内容を一部要約しています。

■ 最重点目標 1 学園生が一体感と誇りをもてる教育活動の展開

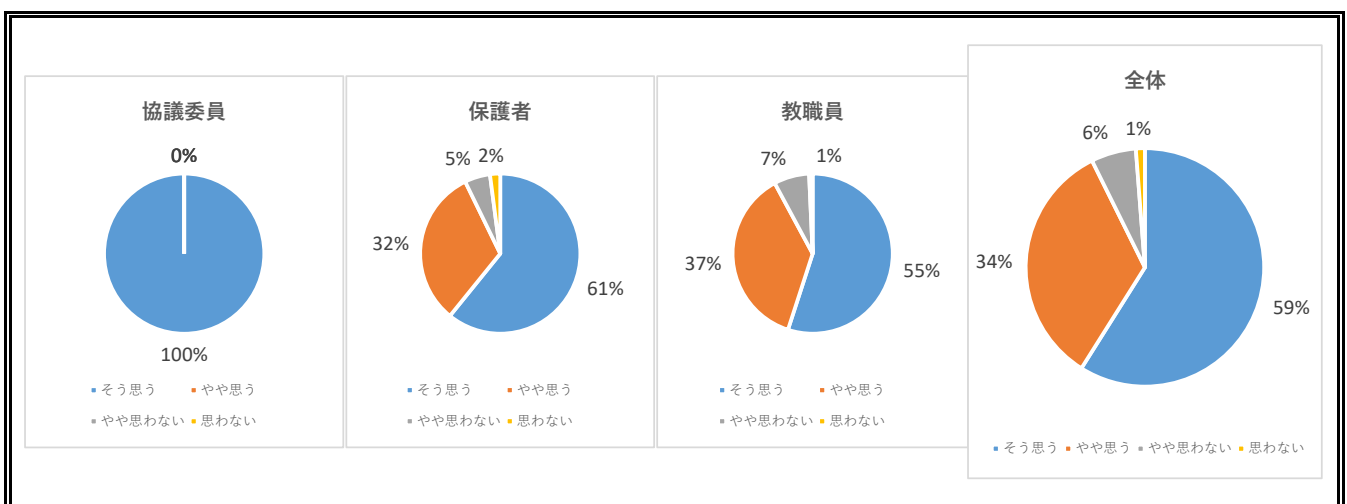
Q1

【設問】	併置型学園として、両部門の児童・生徒の実態に応じた交流を通し、学園の一体感が感じられる教育活動を進めることができていますか。
【取組】	入学式・卒業式・始業式・終業式の実施、光明祭実施（11月1日～3日）、書初大会（1月実施予定）、光明アートギャラリー・全校美術表彰・光美展（12月）・全校書道表彰・光書展（1月実施予定）
【評価】	【分析】
○	令和4年度は、感染症拡大状況を鑑みながら、儀式や行事を、可能な範囲で従来の形式に戻して、実施してまいりました。来年度末の南棟完成に向け、さらに両部門併置の良さをを出していきます。



Q2

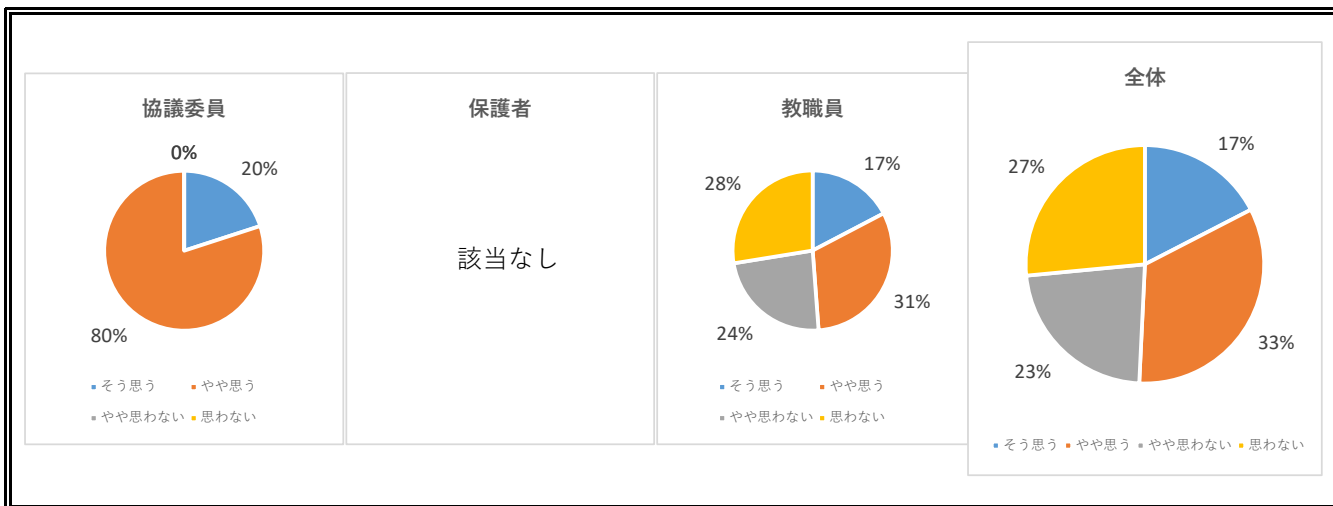
【設問】	HP（ホームページ）やFaircast（フェアキャスト）、Twitter（ツイッター）、リーフレット、校内外の掲示板等を活用し、保護者や地域住民に向け、必要な内容が必要な時期に発信できていますか。
【取組】	HP及びTwitter更新やFaircast（随時）、敷地内・梅ヶ丘駅構内掲示板による情報発信（随時）、各種学校通信・全校保護者会通信の発行・北棟の設備、機能を生かした教育活動、90周年記念事業に向けた資料整理・保管
【評価】	【分析】
◎	ホームページやTwitterによる情報発信や、保護者へ向けたFairCastでの連絡、紙配布の学校通信等、さまざまな形態を用いて、迅速に必要な情報を発信しています。



■ 最重点目標 2 効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上

Q3

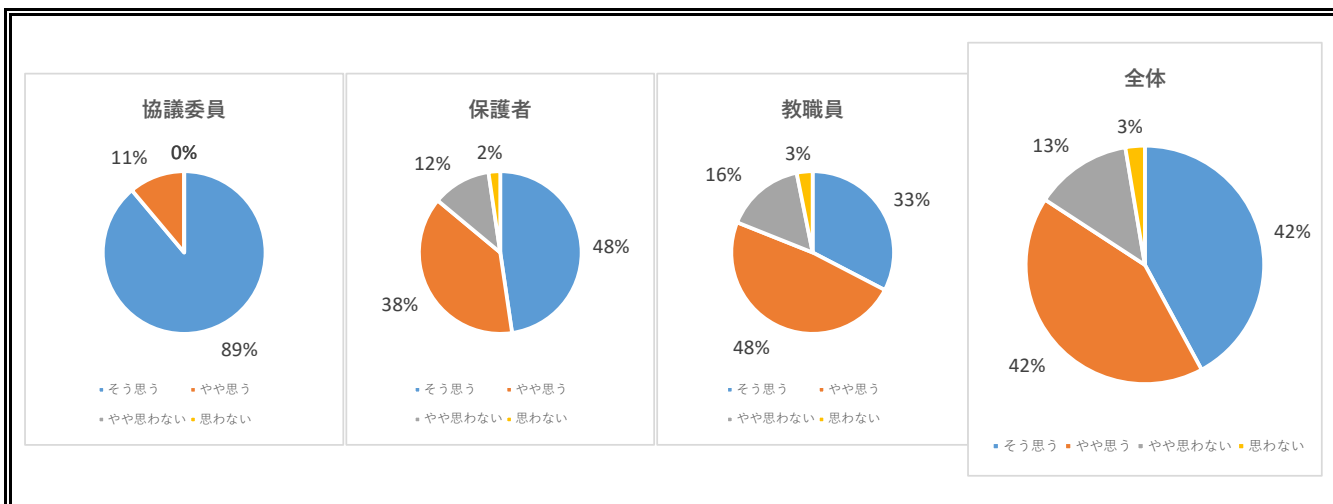
【設問】	時間外勤務の把握や業務ミッションの共有により、ライフワークバランスを踏まえた業務改革を実行することができましたか。
【取組】	働き方改革につながる業務改善提案の積極的導入、主任・主幹・指導教諭業務ミッション一覧の掲示と業務上の課題共有による機能化、学年主任のリーダーシップの発揮による学年経営
【評価】	【分析】
▲	9月から、庶務事務システムが稼働し、教職員自身でも、出退勤時刻を把握しやすくなりましたが、超過勤務は引き続きの課題です。組織として、業務の効率化を推進していかなければなりません。



■ 最重点目標 3 専門性のある人材を活用した教育の充実

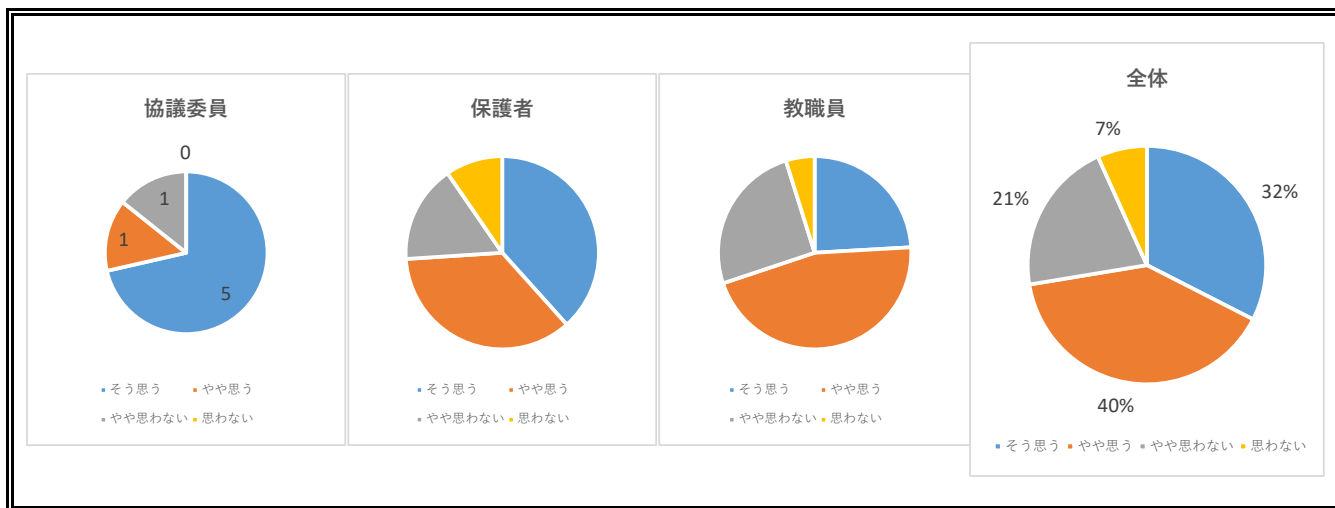
Q4

【設問】	外部からの講師による研修や、外部専門家による指導は、教員の専門性を高めて、学園生への指導、支援に役立っていますか。
【取組】	学習指導アドバイザーによる授業者支援（斉藤宇開先生、宮城武久先生、精神保健福祉士、臨床発達心理士、臨床精神科医師、PT、OT、ST、教材制作アドバイザー他）、オンライン研修の学びを生かした授業づくり
【評価】	【分析】
○	外部専門家により、教員の専門性が向上し、学園生への指導力が高まっていることを、保護者や学園生が実感できるように、さらに指導や支援を充実させていきたいと思っています。



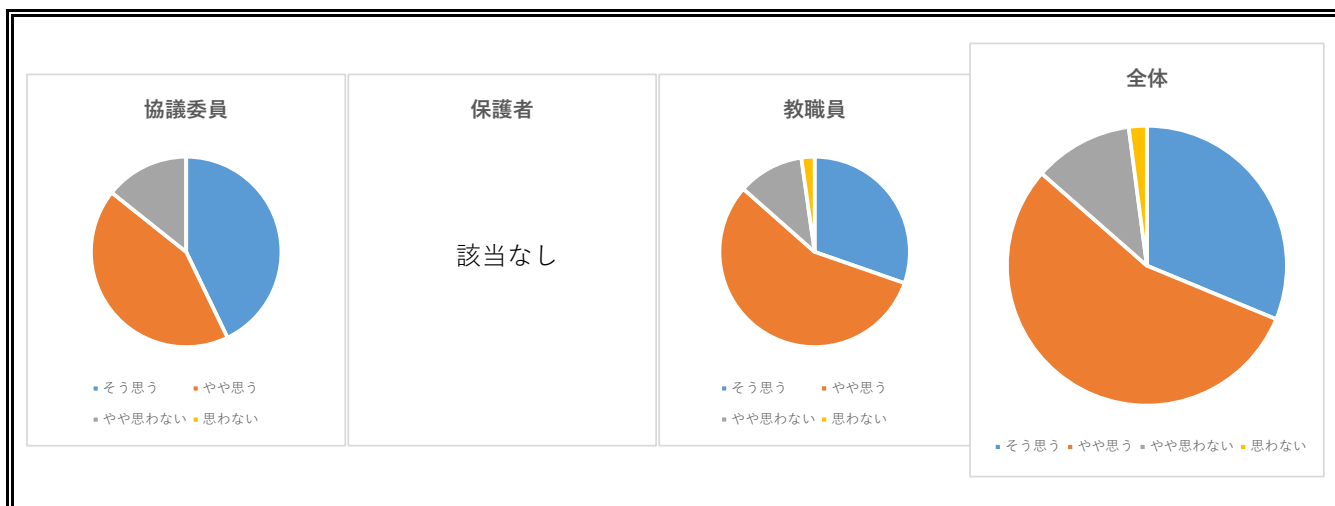
■ 最重点目標 4 授業力の向上 個別学習等の「個に応じた学習評価」の力量形成
Q5

【設問】	オンライン研修の導入や授業者支援会議、外部専門家等を活用し、授業力向上を推進することにより、児童・生徒の個別指導が充実し、基礎的学力が向上していますか。
【取組】	オンライン研修の導入、各学習グループ年次研修対象者（該当者無しの学習グループは1人選出）の授業者支援会議年50回実施、指導実技型授業力向上研修の実施、授業参観ガイド作成等による説明力の向上、国数基礎学習の指導、教材の充実
【評価】	【分析】
▲	オンライン研修や、授業者支援会議での学び、外部専門家による指導は、教職員の資質向上に役立っています。「個別指導」に研修成果をどのように生かしているのかの説明の充実を図ります。



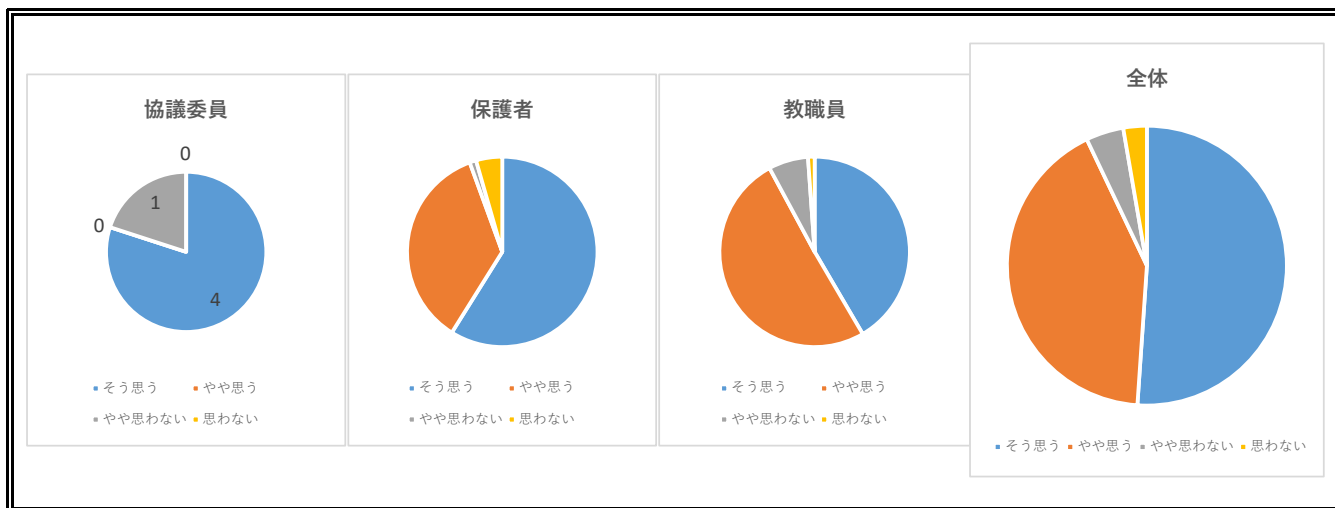
■ 最重点目標 5 専門性発揮・向上による特色ある教育の推進
Q6

【設問】	ICT機器や支援機器を効果的に学習指導に活用し、表現力などのコミュニケーション力を高めていますか。
【取組】	図書環境の整備と読書活動の展開、2020レガシーとして地域貢献（アサガオプロジェクト）、GIGAスクール構想の推進、タブレット型端末、教育用ICTパソコン、分身ロボット、オンライン授業、スイッチ、コミュニケーション機器等の活用、各種検定挑戦のサポート
【評価】	【分析】
○	GIGAスクール端末の導入、オンライン学習支援の拡充、高等部における1人1台導入等により、今年度はICT機器を活用した学習が、充実しました。学園生のコミュニケーション力の向上に役立てていきます。



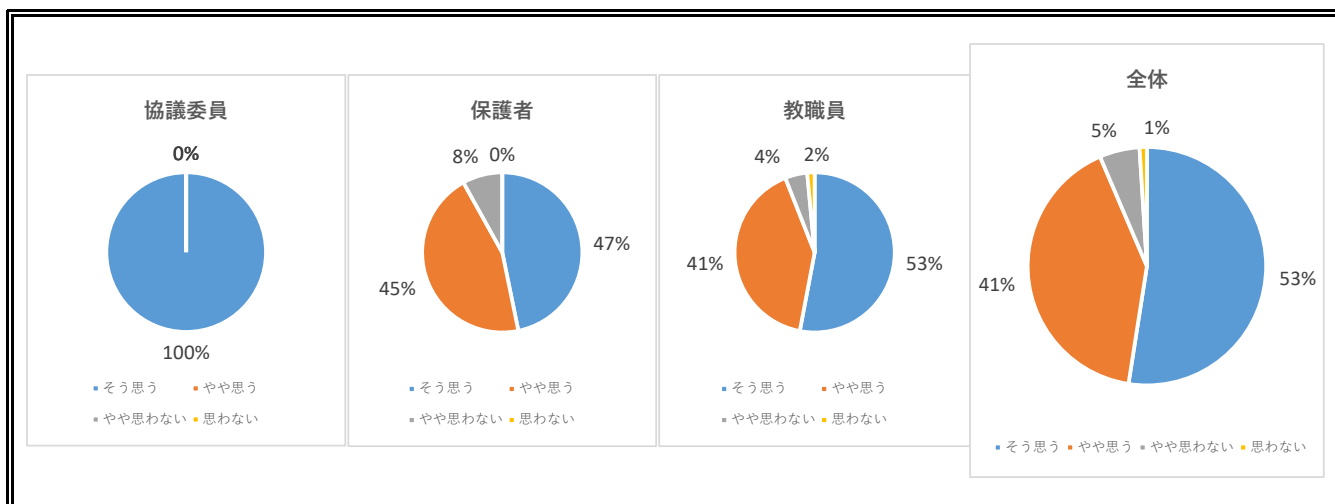
■ 最重点目標 6 学園生が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築
Q7

【設問】	(S) 児童・生徒の安全な通学の取組、(B) 自立に向けた通学、外出指導ができていますか。
【取組】	(B) 一人通学、一人外出の推進、緊急時の連絡方法の指導、(S) スクールバス・医療的ケア専門通学車両の運転手・添乗員との連携、一人通学の指導、スクールバスラインの連絡体制や緊急事態対応、運行確認アプリの導入、教職員乗降確認研修、乗務員研修の実施
【評価】	【分析】
◎	バス乗務員と共に乗降確認書使用の順守、緊急時対応研修を実施しました。校内一人移動・一人通学はマニュアルを刷新し、御家庭との連携のもと、よりスムーズに練習できるようになりました。寄宿舎では、自立と社会参加に向けた外出指導を充実させました。どの緊急時にも対応できるよう、校内及び外部との連携を進めてまいります。



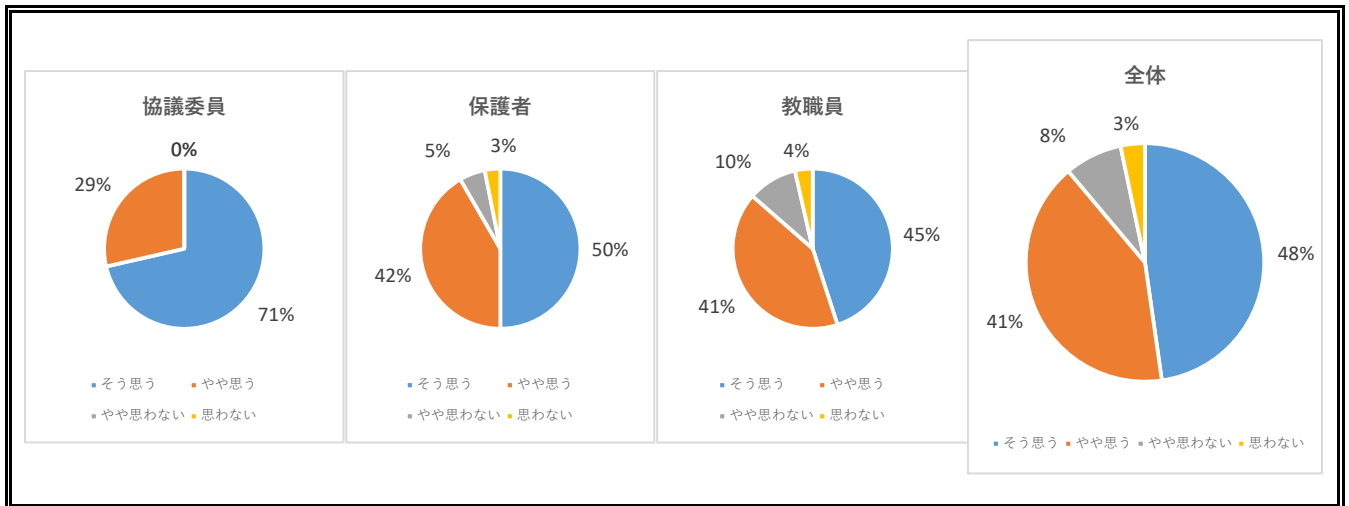
Q8

【設問】	いじめ・体罰防止、自殺防止に向けて、学校全体で適切な指導が行われていますか。
【取組】	服務事故防止研修の実施、いじめ・体罰・自殺防止対策委員会の定例開催、体罰調査の実施、相談窓口の情報提供、「ふれあい月間」のいじめ防止シート作成
【評価】	【分析】
◎	毎週「いじめ・体罰・自殺防止会議」を開催し、些細なことでも管理職まで含めて共有しています。ふれあい月間を活用した教職員の研修や、高等部生徒会による「ふれあい放送」を実施できました。今後も安心・安全な学校を目指して、教職員の研鑽を進めてまいります。



Q9

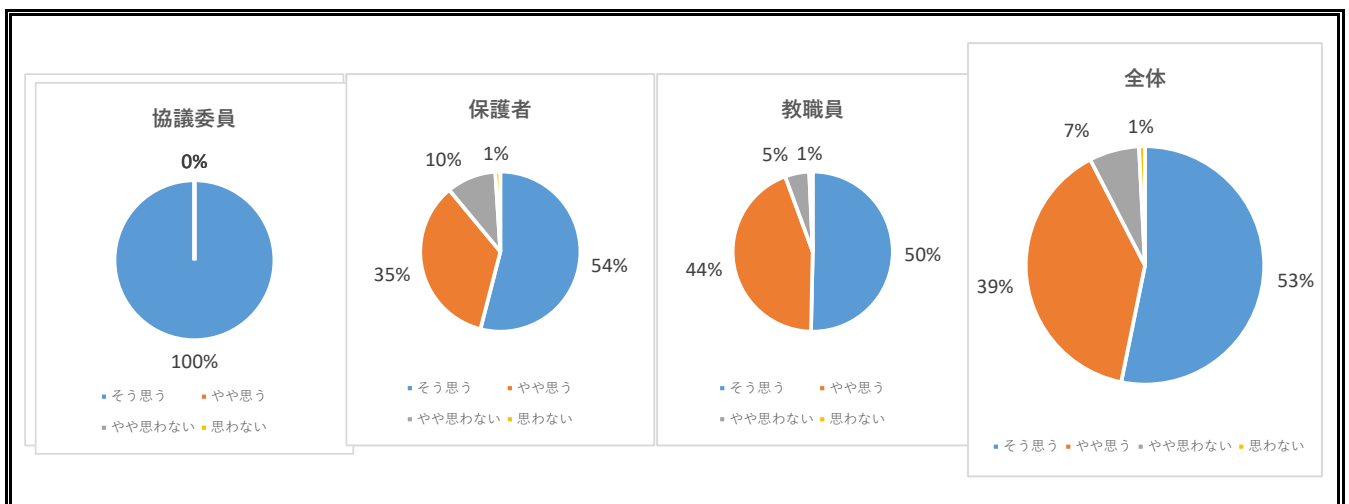
【設問】	校内で児童・生徒が事故や怪我をしないように、安全な環境整備ができていますか。
【取組】	総合防災訓練、避難訓練の実施、地域連携、教職員防災訓練、学校防災教育推進委員会、安全指導日の設定と指導、セーフティー教室の実施、教室・校舎内外環境整備、クリーンデスクデイ・環境整備デイの計画的な設定
【評価】	【分析】
○	新しい校舎を安全に使うために、校内の安全点検や環境整備を定期的に行っています。気づいたところは即対応して改善しています。



■ 最重点目標 7 感染症予防の推進を含む安心できる保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制の構築

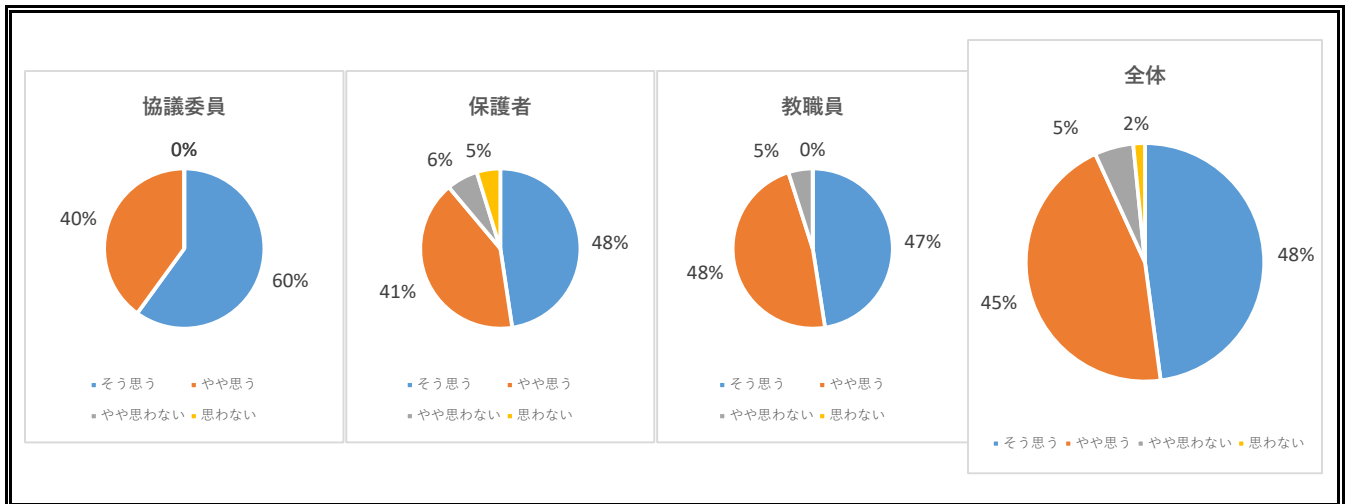
Q10

【設問】	感染予防、感染者への対応、感染拡大防止対策等が徹底されていますか。
【取組】	「健光の橋」の発行、感染予防対策マニュアルに沿った実践、健康確認（サーモグラフィの設置）、飛沫防止、衛生的な環境確保
【評価】	【分析】
◎	感染状況に応じた出欠状況速報や都の通知・注意喚起・校内ルール（変更を含む）等を随時「健光の橋」でお知らせしています。紙配布を最小限にし、ホームページ掲載としました。



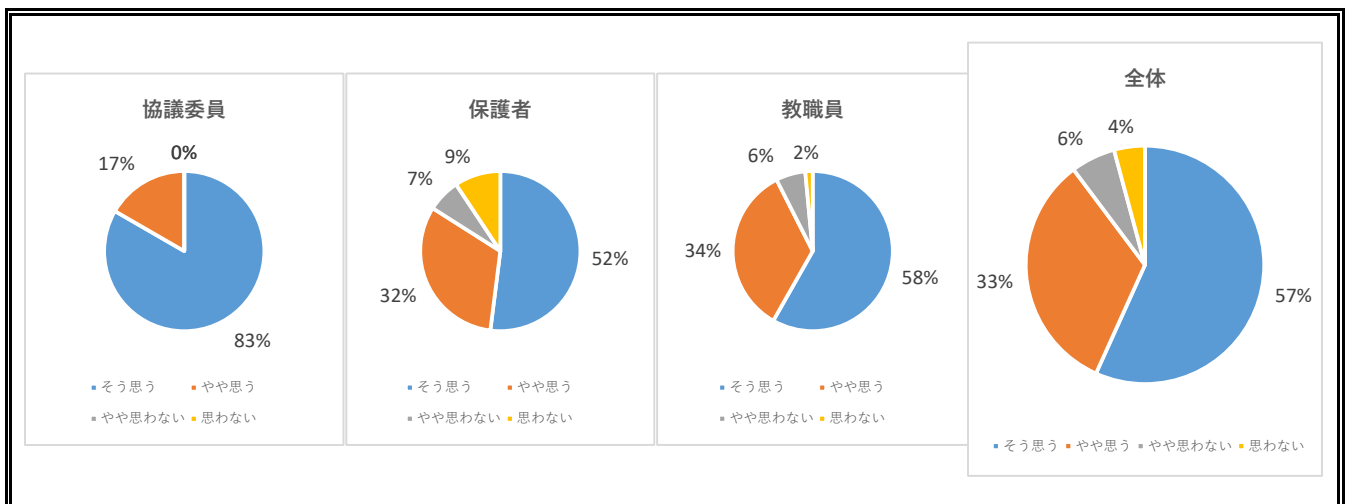
Q11

【設問】	医療的ケアの実施及び専用通学車両の的確で安全な運行が行われていますか。
【取組】	「光明の橋～医療的ケア版～」の発行、医療的ケア保護者会、医療的ケア新規申請に関わる説明会開催、初期食シリンジ注入、専用通学車両次年度対象者選定に向けた情報発信、保護者付添い期間短縮化に向けた取組
【評価】	【分析】
◎	医療的ケアに関する様々なルールや最新の情報等を交え、保護者会開催・保護者会通信の発行などで周知をしています。今後も分かりやすく丁寧な対応をしてまいります。



Q12

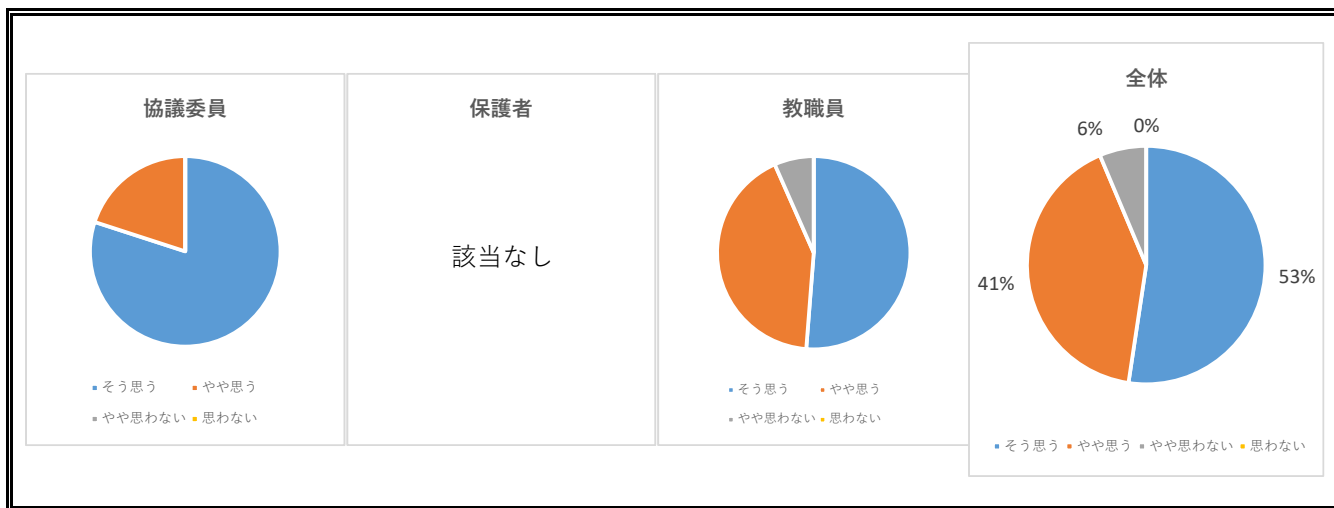
【設問】	児童・生徒の摂食機能に応じた形態食の提供や、それぞれに応じた摂食指導ができていますか。アレルギー対策が徹底されていますか。
【取組】	摂食相談（随時）実施、摂食相談後の学年単位での評価・学習会実施、アレルギー研修会の実施
【評価】	【分析】
◎	摂食指導研修会を開催し、指導技術の向上に努めています。摂食相談を活用し、学部専門家の助言を得ながら、安全安心な給食提供をしていまいます。



■ 最重点目標 8 進路指導・地域支援・教育相談の充実

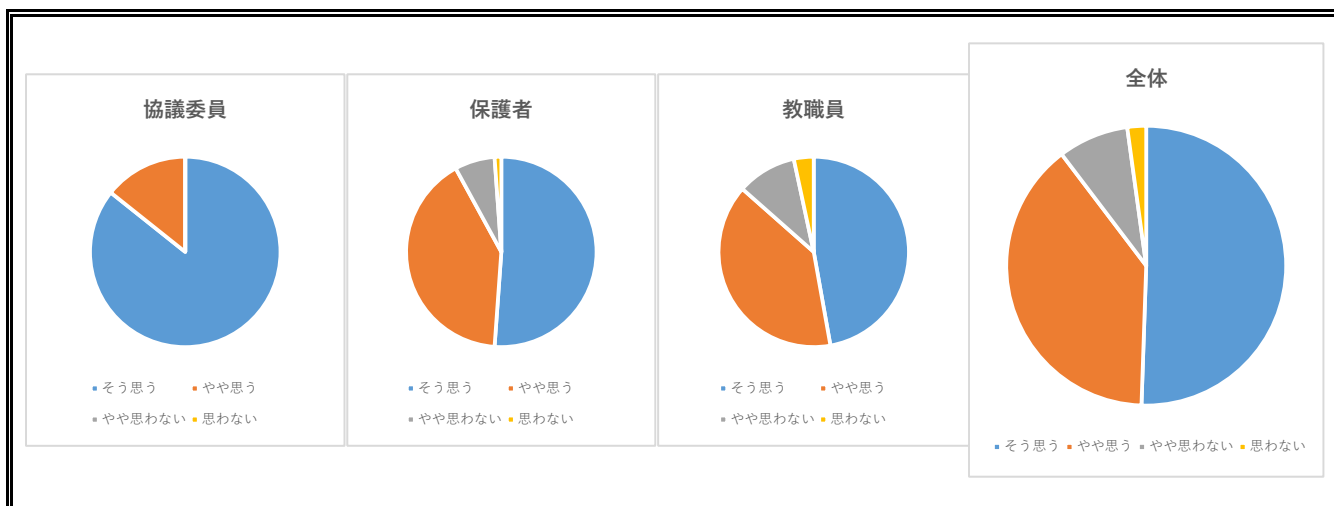
Q13

【設問】	両部門の就学・転学・入学・教育相談、地域支援、進路指導について、学園として東京都立特別支援教育推進室と連携し、就学予定児や児童・生徒本人、保護者へ適切に支援ができていますか。
【取組】	個別の電話相談、学校見学の実施、HP上の情報発信、各区・東京都と連携した就学相談及び転学相談の実施
【評価】	【分析】
◎	通学区の教育委員会や東京都特別支援教育推進室との連携により、就学相談や転学相談を行っています。保護者や関係機関に情報共有を的確に行い、円滑に進めてまいります。



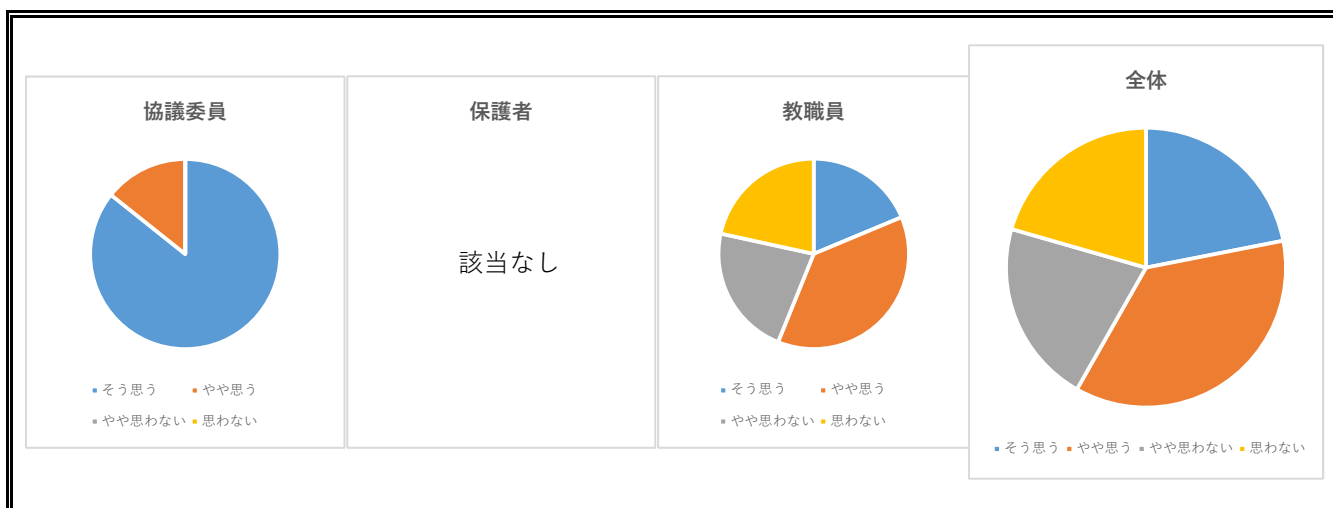
Q14

【設問】	学園として、進路選択・進路指導に関する情報提供や指導の充実が図られていますか。
【取組】	進路だよりの発行（企業就労・通所施設等利用・高等部（高校）・大学等進学情報の発信等）、保護者向け学習会（副校長講演）の実施
【評価】	【分析】
○	進路だよりはHPにも掲載しています。通学区の行政担当者による保護者向け進路説明会を実施しましたが、少人数の出席でしたので次年度は開催についてより良い方法を検討します。



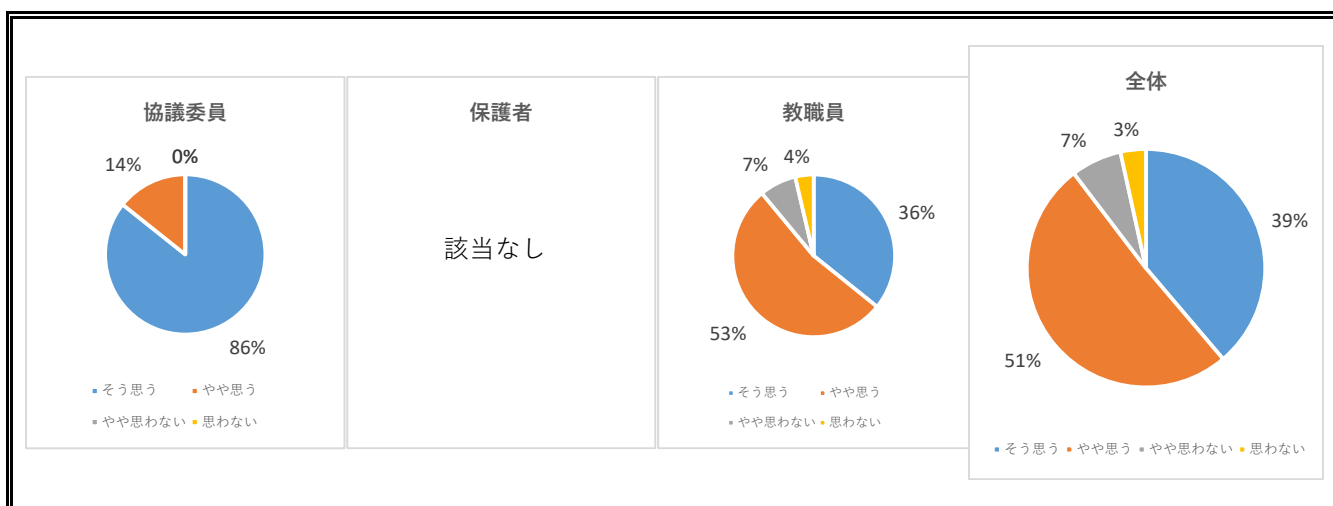
■ 最重点目標9 ライフ・ワークバランスを踏まえた、働きやすく魅力的な職場環境の創出
Q15

【設問】	ライフ・ワークバランスを踏まえた、働きやすく魅力的な職場環境を創出していますか。
【取組】	オフィス化プロジェクト：働きやすく効率的な執務環境（北棟職員室）・職員室のワーク機能の充実・リフレッシュ機能の充実（出張販売、置き菓子）。実勤務時間数の自己管理及び校務分担改善による業務量の平準化、メンタルヘルス・ライフプラン構築へのサポート（専門家相談、セミナー、産業医面談）
【評価】	【分析】
▲	職員室をはじめ効率的な執務環境になるように改善を進めています。北棟が完成し教職員の休養室も設置できました。今後も職場環境の改善に努めてまいります。



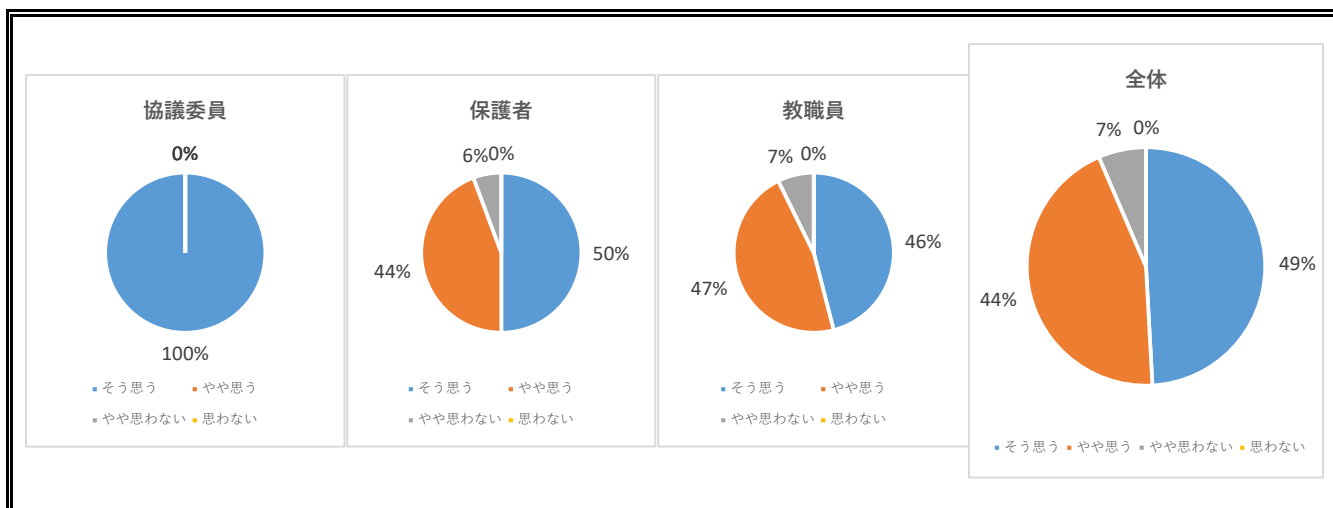
■ 最重点目標10 研究目標：肢・病併置の良さを生かし、社会に即した学園教育の魅力開発と発信
Q16

【設問】	公開研究会において、本校の研究成果を効果的に発信できましたか。
【取組】	全国公開研究会の実施（学力向上の成果、全校読書活動の推進、医療的ケアの充実、授業者支援会議の成果による授業改善、ICT教育の推進（分身ロボット、プログラミング学習、GIGAスクール）、病院内教育の充実、新たな作業種の拡大（2年目）、アートプロジェクトの定着）
【評価】	【分析】
○	全国公開研究会は、今年度も2月4日にオンライン開催しました。全国から300名超の参加申し込みがありました。本校の研究成果を発表する場として、定着しています。



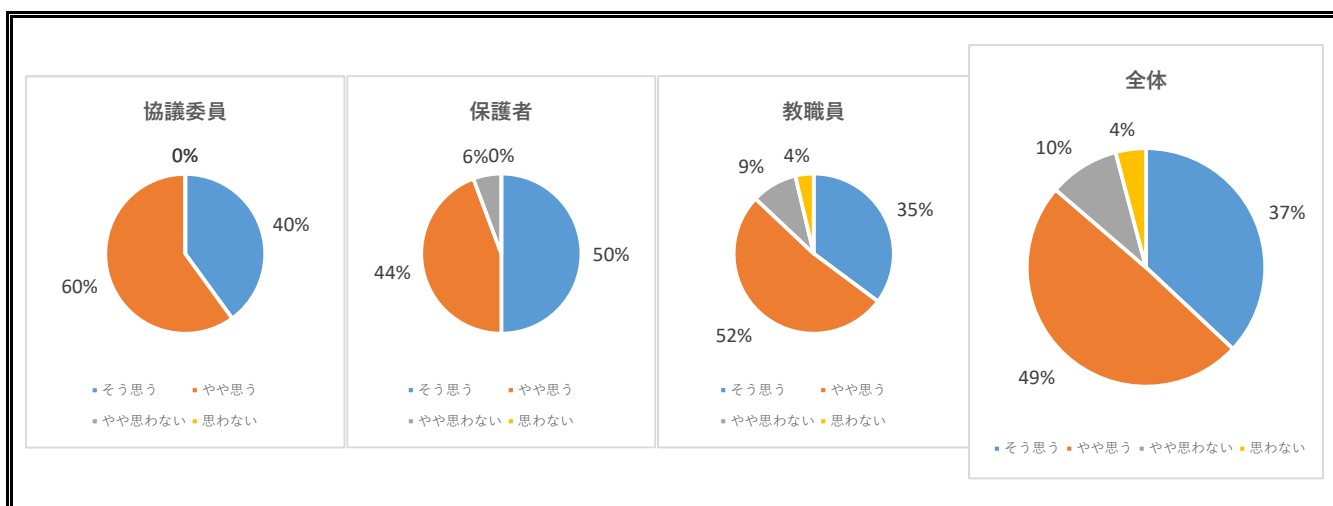
■ 別掲 1 読書活動の推進
Q17

【設問】	都立特別支援学校読書活動の拠点校として、蔵書の整備、貸出システムの構築、読書活動の推進と定着を図ることができましたか。
【取組】	読書活動の推進（貸出システム、読書の配架の工夫、読書月間、蔵書の増加、POPコンテストの実施、図書、新聞を活用した学習の展開、分教室拠点に応じた読書推進）
【評価】	【分析】
◎	読書活動再始動2年目として、読書推進月間年間3回の実施、学校予算だけでなく、様々な団体から支援を受けて蔵書の充実、POPコンテストの実施、図書館だよりの発行など、充実した読書活動を行うことができました。貸出冊数も昨年度の実績を上回るペースで推移しています。



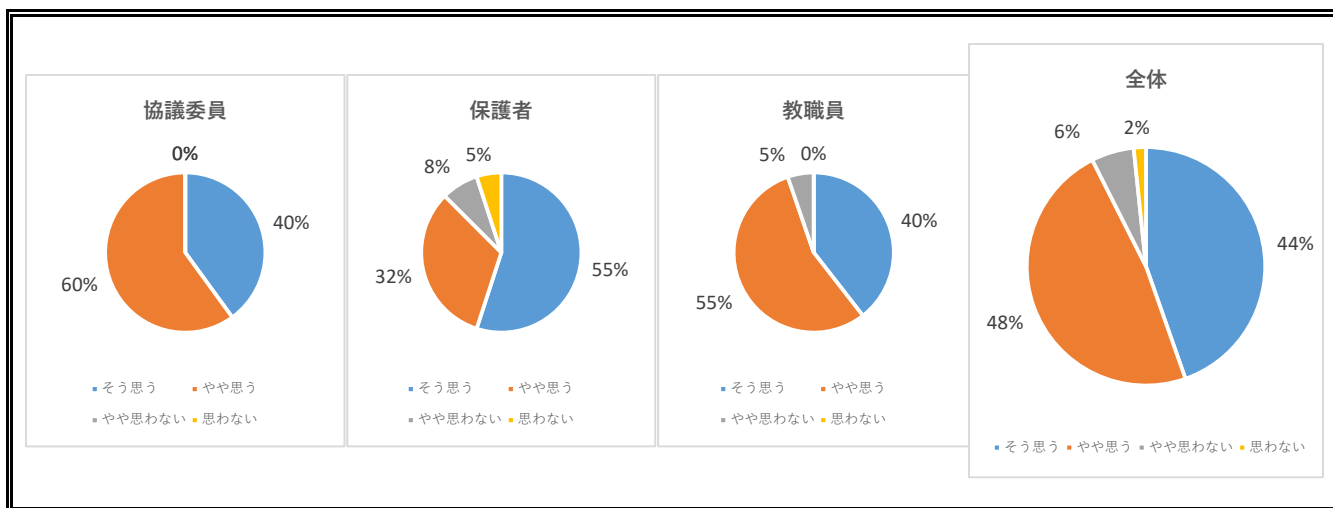
■ 別掲 2 本校B部門の特色化と発信
Q18

【設問】	本校B部門において、特色ある教育活動と情報発信の拡充を進めることができましたか。
【取組】	一人外出の実施、新学習指導要領に基づく「総合的な探究の時間」「自立活動」での社会資源の活用、高等部募集案内の拡充
【評価】	【分析】
○	今年度は、一人外出や一人通学の指導を積極的に行いました。進路学習として「専門学校見学」「大学見学」「職場体験」等を実施し、体験的な校外の活動について充実を図りました。



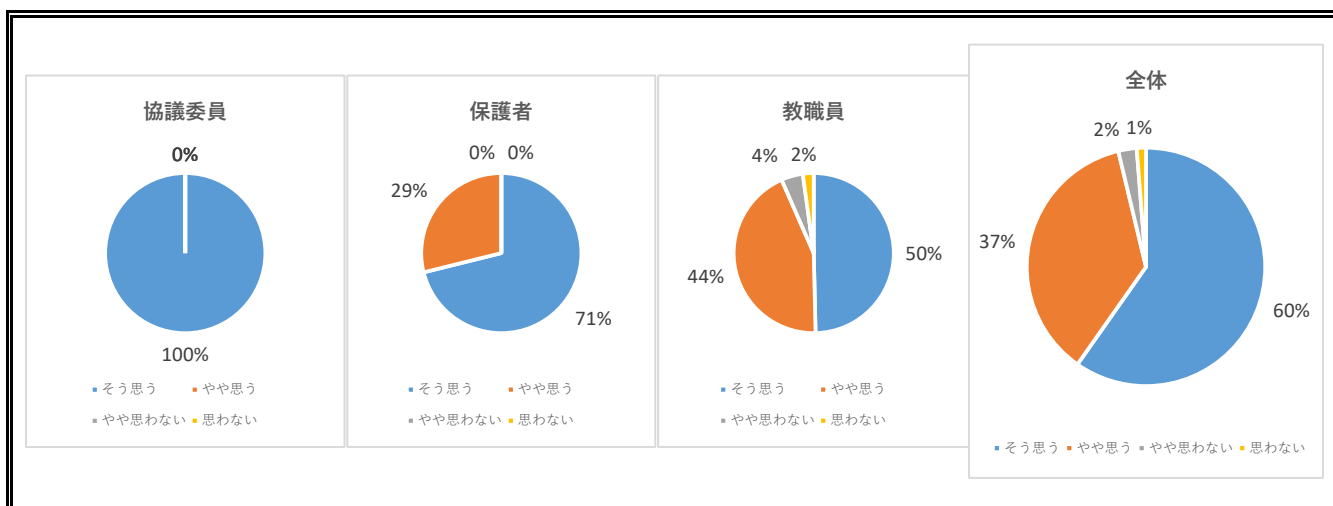
■ 別掲3 進路指導につなげる、職業教育及び作業学習等の充実、新学対策
Q19

【設問】	S部門高等部において、新たな作業種の学習の導入は、進学・職業理解、自己の適性理解につながり、進路学習の推進となりましたか。
【取組】	外部専門家による指導、指導マニュアル作成、新作業種の施行研究、自己理解、進路学習における卒業準備学習の充実（中高大連携）、就労先、事業所、普通校等視察による事例収集、成果還元
【評価】	【分析】
◎	除菌清掃では、梅ヶ丘駅や近隣スーパーで本格的に業務経験を積みました。小学部高学年と交流し、学部を超えた職業教育を推進しました。名刺の受注では、デジタル機器を活用した似顔絵イラストを導入しました。新たに準備を始めたカフェ運営は、次年度の本格オープンに向けて、引き続き学習を深めてまいります。



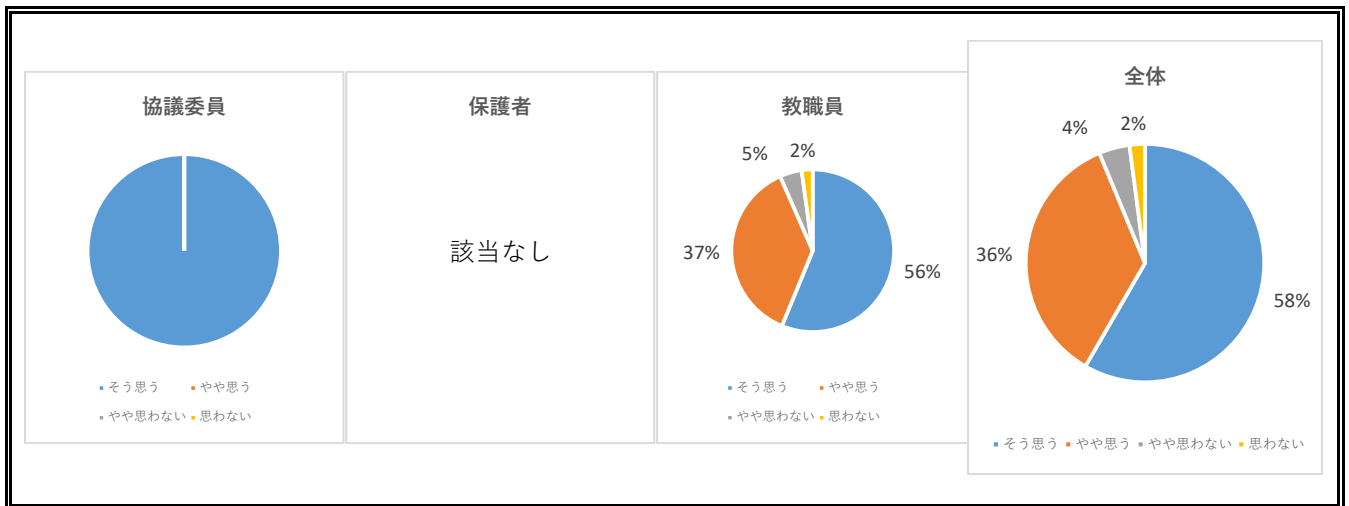
■ 別掲4 光明アートプロジェクトの推進
Q20

【設問】	「光明アートギャラリー」の充実、「光美展」「光書展」の表彰など、光明アートプロジェクトの定着、発展が行われましたか。
【取組】	「光明アートギャラリー」の常設、光美展・光書展及び学園生の表彰の企画・運営、学園生作品を活用した学園の魅力化（ガラス描画、自販機ラッピング）
【評価】	【分析】
◎	光明アートギャラリーの作品展示や、光美展・光書展等の表彰、共同製作の取組をととして、学園生が、自信をもって表現活動ができるようになってきていると感じます。



■ 教職員としての行動指針
Q21

【設問】	学園生の個人情報保護し、児童・生徒の人権を尊重した業務が進めれていますか。
【取組】	電子起案の原則化、クリーンデスクデイの計画実施
【評価】	【分析】
◎	新職員室を利用開始して、一年が経ちます。新しいデスクの使い方を含め、個人情報の保護は、全教職員が高い意識をもって対応しています。今後も服務事故が起きないように業務を進めていきます。



	自由意見	回答
1	保護者付き添い期間短縮について、もっと迅速に進められることを今後も願います。 スピーチバルブの使用が制限されています。医師が安全性を認めていますので本人の成長発達の妨げにならないよう順次進めて頂きたいと希望します。	保護者付添い期間の短縮については、都のガイドラインに則り、進めています。付添い期間は個々に異なります。付き添いが終了するまでの計画を明確にする共に、生じた課題は順次共有して、合意をとりながら進めてまいります。短縮化のみに限らず、学校での医療的ケアが、迅速かつ安全に実施できるよう努めていきます。 スピーチバルブへの対応については、次年度の医療的ケア保護者会で改めて説明をいたします。
2	毎日元気に嬉しそうに登校している姿を見るととても充実している学校生活を送れているのだなと感じています。 そしてそれがなによりの幸せだなと思っております。 教職員の皆さまのおかげです。 ありがとうございます。	日々の教育活動への御協力と御理解に感謝いたします。励ましをありがとうございます。
3	丁寧なご指導のお陰で、目を見張る成長が見られ独歩も出来る様になりました。気持ちも前向きになりました。ありがとうございます。	学習の成果が、これからの進路選択に生かされるようにサポートしていきます。
4	いつもありがとうございます。	教育活動への御協力に感謝いたします。
5	コロナ禍で、教室での様子を知る機会が授業参観等に限られていて、本人が話すことができないので、よくわかりません。 先生が一生懸命やられていることは分かっています。いつも忙しく、意欲があるのに、したいことができず、余裕がないように感じられます。先生の人数が、慢性的に足りていないように思います。先生不足が改善され、負担が軽減されることを願います。	説明力、情報発信力は、学校経営の重要な課題の一つです。分かりにくいことや、情報が不足している場合には遠慮なく御指摘ください。情報発信の質とやタイミングについて、学年として十分に留意して運営を進めるように取り組んでまいります。 多忙な様子であっても、お子様の指導に関する御質問や御意見は担任に躊躇せずにお伝えください。教員の確保や、外部人材の活用については、都教育委員会が様々な拡充策を進めているところです。
6	いつも学びの機会をありがとうございます。 我が子は毎日楽しく通っております。 ツイッターが毎日配信されますが、写真をぼやかしているので何をやっているのかよく分からず、毎回残念に思っています。保護者が見て分からないなら、地域の方はもっと分からないと思います。地域の皆さんの理解と協力を得るためには、学校がやっていることを分かってもらう必要があると思います。 個人情報保護の関係や、掲載不可の方がいるのであれば、掲載可能な方には同意を得て発信してはいかがですか。	御意見ありがとうございます。個人情報保護の観点及び、インターネット上の情報拡散による思いがけない不利益の発生等を避けるため、原則として学園生が特定されないように配慮しております。 発信する内容や、文章を工夫するなど、よりよく理解を促す方法を考えてまいります。 今後ともお気づきのことがありましたら御意見をお寄せください。 掲載可能な学園生につきましては個々の同意を得て発信しています。
7	摂食指導について、担任の先生は一生懸命わたしからお願いされたことを実施してくださり、考えながら改善をしてくださっていますが、外部専門員が給食中にラウンドしたり、教員への指導や研修は行っていますか？保護者が学校に入れないので、摂食についてどのように介入されているのか、わかりません。	今年度も定期的に摂食指導の外部専門家が給食中にラウンドし、摂食の様子を見て、アドバイスを受けています。
8	訪問籍ですが、いつも多彩で大変楽しい授業をしてくだっています。 娘の反応と体調の様子を丁寧に観察しながらの御指導なので、安心してお任せできます。 娘が現在訪問してくださっている先生にとっても慣れているので、できれば学年が上がっても同じ先生に見てもらえると有難いと思います。 今後とも宜しく願いいたします。	担任冥利に尽きる励ましを頂き感謝申し上げます。 担任の配置につきましては、人事異動や教員が保有する免許状等もおさえながら校長が全校の状況を勘案して年度毎に配置して参ります。
9	現場の先生方の熱心な指導には本当に感謝致します。慢性的な人手不足で指導体制が整わないという状態が続いており、もう少し人手があればと感じています。	教職員体制につきまして心配をおかけしております。 全学部の協力のもと、指導体制を整えて参ります。 教員確保につきましては全国的課題となっています。学校も講師等の確保に努力しています。東京都教育委員会は1月12日に教員確保の総合策を公表しました。
10	校外学習、副籍交流がしたいです	今年度は、高学年で、数年ぶりに校外学習を実施することができました。段階的に充実させていく計画です。 副籍交流についても、相手校の方針にもよりますが、少しずつ交流できる学校が増えてきました。現在、教育活動への制限が解除されつつあるところです。
11	スクールバス砧コースのバスのステップ台が壊れたままで簡易台対応が一学期からずっと継続してします。 乗り降りに不安があるので修理していただきたいです。	車両の安全確保は、運行業者の責務です。学校からも強く修理することを申し入れます

12	紙の配布物がすごく多いので、もう少しペーパーレスにしてほしいです。	ペーパーレス化につきましては、順次進めてまいります。 ペーパーレスにするしないの振り分けについて、継続検討してまいります。
13	連絡帳や学校からの配布資料を電子化してほしい。	
14	紙配布を減らしてほしいです。端末を所持していない保護者への配慮が必要ならば選択できるようにすればいいと思います。	
15	医療的ケア専用通学車両を利用しています。都のホームページでも原則看護師乗車となっており、保護者はあくまで協力で乗車していると認識しています。乗車予定当日の体調不良でのキャンセルや、同乗学園生の検査入院が重なって、3週間の運休があったことで看護師乗車の日がなくなることがあります当日の体調は、保護者、本人にコントロールできるものではありません。様々な病気等によって、こうした状況になってしまう場合、専用車両を利用すること自体が精神的に負担になります もう一度原点に立ち戻って考える必要があると思います。	医療的ケア専用通学車両の看護師乗車に関して、御心配をおかけしております。各コースの訪看・学校看護師乗車状況を見ながら、学校看護師の勤務・乗車の調整をしていきます。乗車可能な看護師確保が進むことで、多くの課題が解決されます。東京都教育委員会は最重要課題と認識して看護師確保に取り組んでいます。学校としても看護師乗車率を向上する取組みをすでに進めています。新年度の医療的ケア保護者会や、各種通信等でも最新の状況をお知らせいたします。
16	タブレット端末を、もっと上手く活用してほしいです。 今後とも安心して、また疑念を抱かず登校できるような環境であることを切に願います。よろしくをお願いします。	タブレット端末は、現在、学園生の学習用ツールとして活用しています。タブレット端末の活用アイデアだけでなく、新たなSNSの導入や、Webページを活用した情報周知など、ペーパーレスやコスト削減の観点からも新たな対応の可能性を検討していきます。
17	手厚く看護していただいています。光明学園を必要とする御家庭、お子様がいらっしゃるに、狭き門なのは何故でしょう。それだけが心残りです	光明学園S・B両部門小学部と中学部への入学が適当であるかの判断は、居住地の教育委員会と東京都教育委員会が行っています。都内各地で本校のことを知っていただけるよう広報活動を継続しています。
18	校外学習(プラネタリウム)に行けてとても良かったです	次年度も校外学習を計画しております。 どうぞ、御参加下さい。
19	本日の保護者会のお話で、時間講師の方を確保して頂けた事、学習ボランティアの学生さんに入ってもらえたとのお話がありました。少しでも学園生達が落ち着いて授業を受ける事ができると良いと思います。ありがとうございます。	指導体制について御心配をおかけします。全校で協力して指導体制整備の工夫を継続していきます。教員の人材確保は社会問題でもあります。東京都と連携しながら対応してまいります。
20	学校の図書が増えて、子ども達がたくさん本に触れる機会が増えたのではないかと嬉しく思っているのですが、その後実際にどのくらい新しい本に触れる時間を持っているのかが、よく分かりません。 学校の本に触れる機会があった時は、全ての説明はなくても、例えばこのような機会に新しい本を見ている時間があった、という場面についてのお話を聞けると良いな、と思いました。 また、今は読書よりも他の事に興味がある為本はあまり見ていない、という学園生もたくさんいると思うので、読んだ冊数を競ったり発表したりするだけでなく、少しでも本に触れる機会が持てるように、すぐに手に取る事ができる廊下に本をいつも展示してくださっている事をありがたく思っています。	読書活動とアート(芸術)教育は、本校の特色ある取組みの一つです。学校としてこれらの取組みの情報発信を充実させています。一方で担任や学年からの日常の指導に係る情報発信の課題を指摘していただきありがとうございます。教員の意識を高めてまいります。ぜひ保護者の皆様からも、伝えたいことや尋ねたいことがありましたら担任に直接、連絡帳等でお知らせください。
21	宿泊学習実施基準について 「何割の欠席で中止」としてしまうと人数の少ない学年は実施が難しくなってしまう。また、不参加となると、行事が中止となってしまうので申し訳なく感じる。 長い時間をかけ、先生方も子供達も準備を進めていたので、少ない人数でも実施できる様にして欲しい。	御意見ありがとうございます。東京都で定められた基準に沿って宿泊行事を計画・実施しています。安全な宿泊学習になるよう努めていきます。段階的に教育活動を充実させていきます。次年度以降、宿泊学習の実施が増えることに御期待ください。
22	様々な取組みや配慮をしていただいて子供たちに豊かな学びの場を提供していただいていることに感謝致します。	ありがとうございます。今後とも、充実した学習が展開できるように努めてまいります。
23	きれいな校舎で、多くの先生方に見守られ、安心して通わせています	ありがとうございます。今後とも、校舎の環境整備や安全体制を維持できるように努めて参ります。
24	S部門のみ、B部門のみ対象の質問事項が混在していますが、これで良いのでしょうか？ 分かりにくい気がします。 B部門の薬管理について。耳鼻科や皮膚科で処方されるような薬については、もう少し自己管理できるようにして欲しい。点耳・点鼻薬・塗り薬・生理時の痛み止め等は、臨時薬の扱いとせず、本人の自己管理にして欲しい（特に高等部）。耳鼻科や皮膚科の定期受診程度であれば、親の同伴登校は求めないで欲しい。受診時の書類も、もう少し簡易なものにして欲しい。	できる限り同じ質問事項で構成できるように現在も考えています。一方で部門別に評価をいただきたい事項もあります。学校評価の質問事項については、よりわかりやすくなるよう改善を検討します。 服薬は一人一人の実態に応じて自己管理を目指して指導しています。学校管理下ですので、診療科に関わらず、服薬の理由や内容及び服薬前後のお子さんの健康状態は、学校が把握している必要があります。 書類は、薬手帳の写し等と保護者からの服薬依頼書の提出をお願いしています。また、保護者同伴で受診するかどうかは、各家庭の判断で結構ですが、受診連絡票の提出等の受診報告を確実にお願いしています。 御協力をお願いいたします。

25	いつも子どもたちの教育に尽力くださり、感謝申し上げます。お陰さまで娘は学校が好きなようです。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。	ありがとうございます。教育活動への御理解、御協力に感謝いたします。
26	いつも丁寧な対応をしてくださり感謝しております。これからもどうぞ宜しくお願いいたします	ありがとうございます。教育活動への御理解、御協力に感謝いたします。
27	先生方の取組みは、保護者には見えにくいので、わからないという回答になりました。PTAとの共同開催学習会など、多くの機会を作っていただき、ありがとうございます。医療的ケアの学校側の取組みについて、看護師さんもHTの先生レベルになれば、人材不足も多少解消されそうなのに、と思うことがあります。	「わからない」という回答につきましては、学校の発信力や説明力に課題があるからと考えています。御指摘に感謝いたします。 P T A 学習会に御参加いただきありがとうございます御ざいました。今後も設定して参ります。 H T や看護師の配置については都の基準があります。看護師の増員については引き続き取組んでまいります。
28	医ケア専用通学車両に学校看護師さんが同乗して欲しい。	時間的な制約はありますが、少しでも多くのコースと便に乗車できるよう、調整しています。東京都も本校の看護師の確保について努力しています。校内でできる工夫も講じています。新年度の医ケア保護者会や通信等で、取組みの詳細についてお伝えする予定です。
29	食事の形態を考えてほしい	本校は都の標準 4 形態を提供しています。各形態の仕上がりについては、お子様の実態によっても評価に違いがあると思います。ぜひ、具体的に担任までお伝えください。今年度、コロッケを後期食で提供する際に、見た目に普通食に近い仕上がりとなるように取り組んでみました。摂食機能の向上を図るとともに、おいしくて安全な形態食を目指し、工夫しています。
30	言語療法をうけられるようにしてほしいです。	毎月、1 回来校予定が入っていますので、対応可能です。是非、担任にお声をかけて下さい。
31	コロナ禍が長引いていることで、全体的に学校とのコミュニケーション不足を感じます。その分、担任の負担が大きくなっているようで、逆に恐縮します。 医ケア保護者会や、全体保護者会で質疑応答時間がなく、閉鎖的な感じがしております。	コロナ禍で、学校と保護者、保護者と保護者のコミュニケーションの質や量について考えさせられることが増えています。オンラインでのニュアンスの共有の難しさは、保護者の皆様からも御指摘があります。今後参集できる機会は徐々に増えていく予定です。しかしながら感染症対策だけでなく様々な事情で一部オンライン参加者のいる保護者会はもはや日常となっていくと考えています。コミュニケーションの機会や方法、質と量の確保等につきましてぜひ今後も御意見をお寄せください。新たな課題です。共に考えていきましょう。
32	教員不足で仕方ないとは思いつつも、中学部で定着した学習内容が高等部で退行してしまったり、外部専門家の指導をすぐに取り入れる余裕が先生に無い様に見受けられます。学習出来る時間は残り僅かなので作業学習などせず、今しか出来ない学習をしてもらいたい。	個別指導計画作成の際の説明と合意や、日々の授業に関する担任からの説明に課題があると考えます、御指摘に感謝いたします。高等部卒業までを見据えた、お子さんの学習の重点について担任とよく話し合えるようにしていきます。遠慮なく担任に御意見をお伝えください。
33	食物アレルギーがあり、学校給食を食べられないため、卒業後の進路先でアレルギー対応不可と言われてしまいました。学校は過度にアレルギーを恐れるのではなく、適切にアレルギー対応をして頂き、アレルギー反応が出た時に正しく対応すれば命を失う事はないのだから、正しい認識の下、合理的配慮をして頂き、次の進路へと繋げる責務があると思う。日々のお弁当対応が本人の進路の妨げになっていると思うと大変残念です。	アレルギー管理指導表に基づき、喫食場所を他の学園生と同じ教室にするなど、できる限りの対応をしています。進路先への情報提供や連携に努めて、進路先でも安心して活躍できる環境を整えられるように、連携に努めていきます。
34	学習グループの教室が3階となって、トイレは子供の実態から2階が適しているため、本人にも先生にも負担になっている。 3階になった事で他の学校内の方々とのコミュニケーションが希薄になってしまい大変残念です。	御不便をおかけしています。学園生の増加と、3つの校舎ができるまでの間、 2つの校舎の中に全ての学級を振り分けなくてはなりません。この状況は令和5年度末には解消されます。現在3階を使用していることは、苦渋の選択であることを御理解ください。コミュニケーションの確保については、学習集団の構成や学習する場所が3階だけにならないようにする等の対応を今後も確実に行います。
35	高学年になり身体が大きくなると2人介助が必要な場面が増え先生やHTの負担が増えていると感じる。学校は学びの場とするなら先生方が教育に専念できるよう介助要員を増やすべきだと思う。国や東京都にも働きかけます。 いつも娘をしっかり見て関わってくださりありがとうございます。	指導体制につきまして、御心配をおかけしております。学部をあげて協力体制をとって参ります。

36	経管栄養が必要であると、摂食訓練が一切対象外なのが残念。	条件や手続きはありますが、場合によっては水分等の経口摂取の練習を開始することは可能です。担任に御相談ください。
37	たくさん声がけをしてくださったり、愛情を持ってみなさん接してくださり、とてもありがたく思っています。子供に関する注意点もしっかり覚えて精一杯対応してくださっています。 ただ、まだ不安な面も多く、気がついた点を言わせて頂きます。 医療的ケアに関して ・看護師の人数が圧倒的に少なく、ケアが間に合っていない。吸引が必要な時に保健室に教員が依頼しても断られている場面を何度も見ました。子供は痰で苦しんでおり、忙しさを理由に子供の健康を害していると感じた。年々医療的ケア児は増加しており、従来の常勤看護師の配置では間に合っていない	複数の保護者の方が御指摘されているように看護師の確保の課題については学校として精一杯取組んでまいります。看護師人材募集を行っている東京都教育委員会は本校への看護師配置について対策を進めているとのことです。 適時吸引に即応することは子供の健康や生命を守るうえで優先されるべきことです。御指摘のような状況とならないように、看護師確保だけでなく、学校介護職員や教員の吸引実施者を積極的に養成していきます。
38	医療的ケアの立ち上げは、人によって大きな差がある。仕事をしている親から早く立ち上がっており、不公平感が大きい。医療的ケア立ち上げから看護師への引き継ぎが短すぎると安全が確保されないのではないかと感じるケースがあった。自身については長く付き添った間に少しずつ、色々な場面での体調を看護師に把握してもらえたので安心して付き添いから離れる事が出来た。 指導医診を全員、春の段階で終わらせて、看護師への引き継ぎを早い時点でスタート出来るシステムに変えてほしい。長い付き添い期間は保護者を疲れさせるだけでなく、子の自立、教員や看護師との関係性が出来るのを遅らせている。	医療的ケアの立ち上げから付き添いの終了までは、個別の状況によって期間の差が生じます。対応の公平さについては、不公平な状況を生じさせないように学校としては重要視していることでもあります。今後も公平な対応に努めます。指導医診察について御意見をいただきありがとうございます。御指摘のとおり、付き添い期間の短縮は、子供の自立にとって大変重要です。現在、指導医診察の回数を増やせないか、関係する医師や関係機関と可能性を探っています。指導看護師による研修をもって特定行為の実施者となれるケースを増やすことも考えています。新年度の医ケア保護者会で計画を御説明いたします。
39	衛生管理についても看護師によってばらつきがあり、手袋を装着していれば良いと思っているのか、不潔なフェイスガードを触ったり、アルコール綿を床においたり、髪の毛をはらったりしたその手で吸引を実施する状況があった。 感染対策が厳しい部分は厳しいのに(吸入を別室で行う等)、衛生面が徹底していなかったり、口から食べる子と、注入をする子を同室にしたり、感染対策が緩い部分のギャップがあり、矛盾していると感じる。 女子トイレで用を足した後に手洗いをしないで出ていく教員を見かけた。長い付き添い期間の中でこのような気になる事がたくさんあった。	衛生管理についての御指摘ありがとうございます。あらためて衛生管理の意識向上と対応の徹底を図ります。栄養注入を必要とする学園生も、友達と共に生活することを大切に考えています。初期食のシリンジ注入が始まっていますが、これは食育や友達と共にということを大切にしている事業でもあります。一方で、経口摂取時の飛沫が不安である場合、パテーションを用いたり、距離を置く対策も併用しています。具体的な御指摘、御不安につきましては、ぜひ担任に御相談ください。
40	責任ある立場の教員が欠勤、遅刻する事がとても多かった。介護職員の先生は急な欠勤は無かった。ただでさえ、子供に対する教員の人数が少ないのに、教員が急に休むと教室全体が回っていない印象でした。2人いるはずの教員が1人の日は、一人で放置される時間が多くなり、とても可哀想でした。安全面でも、とても不安があります。	御指摘に感謝申し上げます。教職員が、予期せぬ休暇を当日に取得することはあります。体調や家庭状況や様々な事情の中での職業生活であることは、どのような業種業態であるかにかかわらず共通のことです。しかしながら、当該の教職員が不在であることで、お子様への必要な指導や安全確保がままならない状況になることは避けなくてはならないことです。御心配をおかけしてしまったことにお詫びいたします。誰かが欠けても、学校として必要な事業を継続できるように、学部・学年全体での指導体制調整を行って、安心・安全で学びやすい学習環境を確保できるように取組んでまいります。
41	学校運営について目標を掲げて積極的に発信されていることは理解しておりますし評価します。 一方で、その指針を現場の教諭がどれだけ理解しているのか、実際に現場で取り組んでいるのかということに疑問が残ります。管理職と現場の教諭の意識の差が気になることが多々見受けられます。有能な外部講師が入り指導を受けているのか、子供を見る限り新しく習得したものは見えないので、日々の連絡帳にて保護者にも情報提供しながら、家庭での過ごし方と併せて取り組んでいただけたら個別指導の充実に繋がると思います。読書活動の推進の中で寄贈により本が増えたことは知っていますし、PTAもフィルム貼りなど共に支えていると思います。しかし、我が子は今年度本を持ち帰ってきたのは10冊未満と思われます。校内で空き時間にでも読書の時間を設けているのならいいのですが、子どもたちに還元されているかはわかりません。図書を借りに行く際の人員が足りないのか、教諭の個人差なのか現況を把握して欲しいです。今後も更なる特別支援教育の充実を期待します。	外部専門家等の有識者を活用しておりますが、御指摘にあるように、活用の計画や活用する際に前後の情報発信が十分ではないとの御指摘が複数寄せられています。専門家等から学んだことがどのように個別の指導に生かされているかの情報発信にもまだまだ課題があります。Q4の肯定的評価が80％前半にとどまっていることから課題として受け止めています。 個別指導に関する時間や読書活動の取組に関して、担任や学習グループや学年によって取組みの質と量に差が生じないように、指導の状況を把握して対応してまいります。
42	4、5の設問については、外部専門家の方の研修や指導がどう生かされているのか積極的に知る機会を持てず、よく分からないとしました。中学部までは宮城先生、平井先生の個別指導を受ける機会がありましたが、高等部では実施されなかったのか？不明で、個別課題が継続出来ていたらいいなと思います	他の保護者の方からも御指摘がありました。外部専門家から受けた指導のお伝えができていなくて、申し訳ありませんでした。保護者に、外部専門家の活用の状況、指導改善への生かし方を確実にお伝えするように、担任に指導してまいります。

43	<p>年度途中で体調を崩して、医療的ケアの内容が変わったために、ずっと保護者が付き添っています。先生方も看護師さんたちも一生懸命サポートして下さいとても感謝しておりますが、やはり待機解消までとても時間がかかり、保護者の心身の負担も大きくなっています。</p> <p>新入生ではなく、既に数年間もこの学校に在籍し、吸引や注入などの医療的ケアを実施してきているにもかかわらず、人工呼吸器の利用等が加わった途端に、それまで実施できていたケアが実施できなくなったことは非常に残念でした。今までと変わらないケアが実施できていれば看護師さんたちの息子への理解や慣れも進み、早期の待機解消につながったと思います。心情的にも、ついこの前までケアをしてくれていた看護師さんたちが急にかかわってくれなくなるのはとても寂しいものがありました。</p>	<p>現在も待機を続けていただいているケースです。一連の御指摘を受けて、次年度以降、他の待機のケースにも共通した改善策を検討する機会を持つことができました。詳細は次年度の医ケア保護者会等で御説明いたします。</p>
44	<p>呼吸器管理等についての医ケアが立ち上がった後については、2週間ごとを目安に待機の次のステップへ移行していく説明も受けていましたが、実際始まってみると、2週間経っても、3週間経っても、学校側からはなんの説明もないまま、同じ待機の形が続き、こちらから質問して初めて面談の機会をいただきましたが、まだしばらくステップアップは難しいとの回答でした。</p> <p>医ケアが立ちあがった後、その後の待機解消までのスケジュール（予定）を具体的に（できれば書面で）保護者に示していただき、予定通りにいかない場合はなにが課題になっているのかをその都度保護者に説明・共有していただくべきではないかと考えています。</p> <p>先がみえない状態では、保護者の側も負担感が大きいですし、学校側でも皆さんで予定スケジュールを意識していただかないと、「慣れるまで」「安心できるまで」といった基準だけですと、いつまでも長期化してしまうと感じています。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>いただいた御意見をもとに、待機が終了するまでの計画を書面でお示しできるように準備することにしました。呼吸器管理だけでなく、他のケアについてもスケジュールが分かりやすく共有できるフォームを作成中です。資料を整えるだけでなく、適宜に説明の機会をもたずに月日が過ぎてしまったことを反省しています。これを機に、付添い期間や見通しについて、保護者の方に説明する方法と合意形成のプロセスが、学校として共通のものとなるよう準備を開始しています。</p> <p>新年度から導入いたしますので、詳しくは、新年度の医ケア保護者会で説明いたします。</p>
45	<p>隣室待機の形で廊下で待機や昼食等とっていますが、とても寒いですし、PC等で仕事等をするにも廊下を通る方等の目が気になります。数メートル先の別室で待つのと実質的な違いがあるとは思えませんので、早期にせめて別室での待機の形に移行することを希望します。</p> <p>先日の保護者会についても、近くの部屋での学年保護者会の会場にも行けず、とても残念でした。</p> <p>廊下で待機しているのと殆ど変わりがあるとは思えず、もう少し融通をきかせていただければと思います。</p>	<p>このことについても、保護者の皆さんの健康の保持は最優先と考えます。</p> <p>夏の暑さ、冬の寒さによって体調を害することのないように、廊下待機と隣室等の教室内待機の決め事に固執しすぎず合理的な対応を行ってまいります。</p>
46	<p>問4.5_外部専門家の先生による個別指導については、担任の先生による理解や考え方によりばらつきがあると感じています。昨年度は個別指導・授業などで積極的に取り組んでいただき、児の成長も著しかったのですが、今年度は個別指導・授業への重き、配分も少なく、実際にどれくらい実施があったのかわかりません。また、昨年度の評価を現担任と共有はしているものの、実際の取組みには繋がらなかったと思います。</p> <p>カリキュラム構成は、担任の先生個々に委ねられているのかわかりかねますが、もう少し取組み方針など明確に提示いただけるとよいかと思います。</p> <p>問8_小6です。学園生、先生方含めた人数に対して教室が狭すぎで、安全・衛生・環境の面からも問題があると感じ、保護者と学年先生たちとの間で年間を通じて意見交換をしてきましたが、十分な検討、改善策にはつながらなかったと感じています。</p> <p>また、iPadの貸与が1人一台ある中、その利用方法や運用、使いこなしも含め、担任の先生によりマチマチだと感じています。オンライン授業の想定や保護者がなかなか学校に入れない今、貸与から2年～経ちますので、もう少し標準化した利用方法などご検討をいただければと思います。</p>	<p>外部専門家の担任への指導については、年間で一律に行っていますが、個別指導への展開に担任間の差があるものと思われます。個別指導に関わる設定、方法につきまして、学部で周知して参ります。</p> <p>教室の広さにつきましては、東京都教育委員会が定める基準に基づいています。運用として、整理整頓や共有物品の格納場所の整備などを行うことで、少しでも安全で学びやすい環境を提供できるよう工夫していきます。南棟の完成と使用が開始される迄の期間は、現在ある2つの校舎の中に全ての学級を設置しなくてはなりません。令和5年度末までの特別な状況下ですので御理解ください。</p> <p>タブレット端末の活用について、標準化した方法を検討して参ります。</p>
47	<p>前回の摂食指導に必要なだと言われたスプーンを購入し、毎日待たせていたが、進級し担任が代わると使われていない様子だった。次の摂食指導の後、今の担任からスプーンのことを逆に質問され、引き継ぎが行われていないのではないかと感じた。</p> <p>トイレチェアの部品をオムツの中に入れられたまま下校し、内股が赤くミミズ腫れのようなった。担任と副校長からの謝罪と状況説明はあったが、トイレ指導を行った当事者（学校介護職員）からは、後日、学校で顔を合わせても謝罪はなかった。責任は学校として果たしたと思うが、介護職員といえども、社会人として本人からも一言欲しかった。</p>	<p>担任間の引継ぎに関しまして、御心配をおかけし、申し訳ありません。再度確認し、学年で共有を図ります。</p> <p>トイレチェアの事故につきましては、申し訳ありませんでした。今後、当該教職員の対応について指導するとともに、十分にコミュニケーションを図れるようにしていきます。</p>